

教 育 目 標 「夢いっぱい 友だちいっぱい 清央小」
・自ら学び工夫する子ども (考 える)
・元気でがんばる子ども (鍛 える)
・礼儀正しく思いやりのある子ども (思いやる)

※本たよりの本文は、ユニバーサルデザインのフォントを使用しています。

いじめゼロ強化月間 ②

心の教育の要 道徳教育 について

学校での「道徳教育」は大きく二つの側面があります。

一つは、学校全体で日常的な生活場面を含む、学校生活全体を通して取り組む「道徳教育」です。

もう一つは、授業で行う「特別の教科 道徳」（以下「道徳科」）です。これら二つの側面について、栃木県では「教え育てる道徳教育」としており、右図のように学校生活全体で行う道徳教育を「**教える**」、道徳科の授業を中心として行う道徳教育を「**育てる**」と位置付けています。

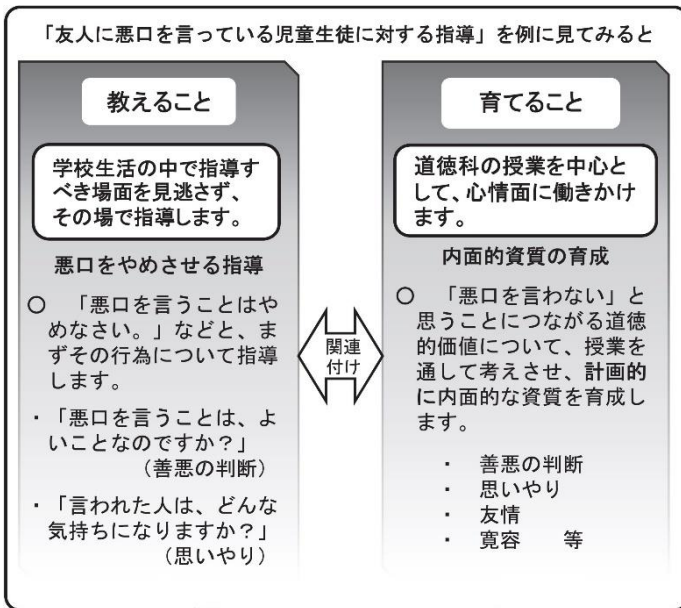
いけないことをダメという「**教える**」指導はもちろん大切です。しかしそれだけでは、やっていけないことは覚えるかもしれませんが、

指導されているので子供は受け身になってしまいます。そのため、心情面に働きかけ、子供自身で主体的にしっかり考えさせる、「**育てる**」指導も大切になってきます。

子供たちは、「いじめをしてはいけない」など、やってはいけないことは頭では分かっています。しかし、時として人間は、いけないと分かっているでもやってしまう弱い心も持ち合わせています。道徳科の授業は、教科書のお話などを使って、様々な出来事を「自分ごと」として捉え、同じような場面に出会ったときにどう考えればよいのか、どうすれば正しい判断ができるようになるのか、意見を出し合って考えを広げ、自分自身で深く考える時間となります。

今後も学校では、県や市の方針に基づき、本校の指針の一つでもある「思いやる 礼儀正しく思いやりのある子ども」の育成に向けて道徳科の授業も大切にしながら、前号で紹介した取組を含めて実践していきます。

(文責：校長)



「栃木県道徳教育ハンドブック」（令和2年県教委）より



○ 5/22(水) いじめ防止の取組の一つ

★ 学級自慢集会 が開かれました！

「自分たちはこんなクラスになりたい」を各学級で話し合って決めて発表しました。「助け合う」、「仲良く」、「やさしい」、「親切」など仲間を大切にしようとする思いや、「挑戦」、「笑顔」、「粘り強く」など前向きに取り組んでいこうとする思いが伝わってきました。